



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

Jan. 1983

I-4

The New Jerusalem  
Then I saw a new heaven  
and a new earth

わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。  
(ヨハネスへの黙示 21章1節)

### New Year's Message

会長 山中 秀男

皆さんお目出度ございます

会員の皆さんにはご家族共々良いお正月をお迎えになられた事と思います。

昨年はクラブの設立準備会に始まり、6月16日設立総会9月25日チャーターナイトとスケジュールに追われる多忙さを味わいましたが、一方日を追うに従って楽しい忘れえぬ思い出になると思います。

さて本年はいよいよ本格的クラブ活動が始まりますが、クラブを楽しむこと、会員相互の親睦を第一にゆっくり、着実に進みたいと思います。

ONWARD CENTENNIAL 競馬名の如きスローガンと評されましたが、そうです「名馬は休まず、負傷(ケガ)せず」の例え通り四足で宙を跳るキャンターでなく、一本の足は常に地に着けて走るギャロップで行きたいものです。

最近の若い世代、特に女性にY'sの人気は圧倒的です。Y's MEN'Sでなく、デザイナー山本耀司のブランドY'sとしてです。パリ、ニューヨークの真似をしていた日本のファッションも「一生」、「耀司」を中心に東京ファッションとして世界に通用するものに育ってきました。

当クラブも国際社会へのサービス、貢献で一粒の種子を育てたいと念じています。

メネット会 山中 ちあき

あけましておめでとうございます

皆様おそろいであたたかいお正月をお迎えのことと存じます。9月25日にチャーターナイトでスタートし、はや3ヶ月が過ぎてしまいました。12月4日には、クリスマスパーティーでコメント連も交え家族共々楽しい一時を過ごし、ようやくクラブの家族相互の友情がকাশし出され、楽しさも盛り上げて来た感じです。

2月には灘の酒蔵見学、3月にはメン共々料理教室を開きたいと計画しております。より充実したクラブにしたいと念じ、メネット勢揃いでお目にかかれるのを楽しみにしております。

## THEME (1982~'83)

- I.P. OPPORTUNITIES  
THROUGH PARTNERSHIP  
R.D. GOOD WORK  
WITH GOOD HEARTS  
D.G. 全員参加でワイズにパワーを/  
メネットも共に  
P. ONWARD CENTENNIAL

### 1983年1月例会プログラム

〈中西部新年合同例会〉 ホスト 土佐堀クラブ  
とき 1月8日(土) 17:30~20:00  
ところ 太閤園  
(大阪市都島区網島町9-10)

#### 第1部

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 点鐘、開会の辞   | 北村 会長        |
| 2. ワイズソング    | 一 同          |
| 3. 聖句・祈禱     | 徳野 主事        |
| 4. 中西部長あいさつ  | 篠田 部長        |
| 5. 日本区理事あいさつ | 松崎 理事        |
| 6. 総主事あいさつ   | 宇野総主事        |
| 7. 合同入会式     | センテニアル 鈴木謙介君 |
| 8. ゲスト紹介     | 灰谷隅夫君        |

#### 第2部

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 食前感謝   | 酒井哲雄君     |
| 2. 乾杯     | 大 阪 遊上 会長 |
| 3. 晩さん・歓談 |           |

#### 第3部

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1. 初春賢人会顔見世競演 | 各クラブ     |
| 2. お年玉贈呈      | 北村 会長    |
| 3. インフォメーション  |          |
| 4. 合唱「年の始め」   | 一 同      |
| 5. 閉会の辞       | 横山次期中西部長 |

(会費) メ ン 6,000円  
メネット 5,000円 コメント 無料

#### ◆誕生日おめでとう

中村 幸枝 メネット	1月1日
西村 隆夫 君	1954年1月3日
松添 玲子 メネット	1月21日

#### ◆結婚記念日おめでとう

岡本 公一・節子夫妻	1月11日
------------	-------

12月例会		出席者〔在籍会員 36名〕		
	第1例会	第2例会	Make up	集 計
メ ン	21名	17名	5名	26名
出席率	58.33%			72.22%
メネット	14名	5名		
コメット	13名	2名		
ヴィジター	5名			
新 人		1名		
合 計	53名	25名		

- ヴィジター 岩越重雄君、遊上義一君、遊上メネット（大阪クラブ）兼松正君（神戸）下古立嬢（YMCA）
  - メネット 大野・黒田・鈴木・谷川・中村・藤井・藤本・皆本・森・森田・安福・山中・横山各メネット
  - コメット 大野由美子さん、田中美果さん、藤井大祐くん、三奈さん、藤好俊くん、藤本誠史くん、裕央くん、智美さん、皆本恵美さん、晴美さん、森佐知さん、安福恭子さん、山中圭さん、横山昇平くん、貞也くん、
  - 新人 西出宏君（森田誠君紹介）
- ＜11月度出席率の補正＞ 正司泰子姉は11月18日大阪河内クラブ例会に出席しメーキャップされました。先月の出席率を訂正し「75%」とします。

◆ 12月のニコニコ 10,100円（累計64,280円）  
 なおファミリーパーティのニコニコ41,000円はYMCAにクリスマス献金しました。

12月家族例会 — クリスマス・プログラム —  
 楽しい家族のクリスマス・プログラムが12月4日（土）午後5時から、大阪クリスチャン・センターに於て催された。ゲストに、我クラブ誕生にあたっての大恩人である大阪クラブ遊上会長ご夫妻、岩越氏（大阪）、クリスチャンセンター館長、兼松氏（神戸）YMCA下古立嬢を迎え、メン・メネット・コメット総勢48名が参加した。

プログラムは、第1部例会の後、第2部では豪華な晩餐の会が催された。谷川君司会による家族紹介では、初めてのメネット、コメット参加の会にふさわしいユニークな家族紹介が行われ、特にこの度御結婚された中村君の家族紹介の時には多くの激励の声がかかった。又、松添君によるショパンのピアノ独奏は、わがクラブの底知れぬタレント性を象徴するものであり、全員、かたずをのんで聞きほれていた。その他、歌やゲームで楽しい時を過ぎた後、安福副会長扮するサンタクロースが各自持参したプレゼントを全員に手渡した。（サンタクロースの役は当分、安福君の右に出る者はなし！）ひき続き第3部キャンドル・サービスは、サンタクロースからコメットへのキャンドル点火で始まった。中川君司会、谷川メネット奏楽により、センテニアル聖歌隊の壮麗な調べが奏でられ、藤井、藤本両コメットの聖書朗読を、全員が歌う讃美歌におりまぜて、サービスは最高潮に達した。最後に山中会長の「メリー・クリスマス」のメッセージ、鈴木書記の祈禱をもって、初めての楽しい家族例会は終わりを告げた。（森田誠記）

今月の聖句によせて

黒田 厳之

新しい年は云うまでもなく時の連続の中に生じる歴史の1ページである。従って新年は、12月が終ってその終立であり、あまり意味のないことだと考える人もあるだろう。しかし、新しい年は、新しい決心を固める時であり、新しい行動をおこすチャンスと考える時「前向きの人生」が生れる。

わがセンテニアルY's メンズクラブが、初めて迎える新年を、新しい行動の指標として、益々ユニークなクラブづくりと、奉仕活動を展開する時としたいものである。



12月第2例会の記録 — 12月22日（水） —

(1) '83年例会スケジュール

- 第1例会（第3水曜日）  
 1/8（土） 2/16 3/16 4/20 5/18 6/15  
 7/20 8/17 9/21 10/19 11/16  
 12月 — クリスマス例会
- 第2例会（第4水曜日）  
 1/26 2/23 3/23 4/27 5/25 6/22  
 7/27 8/24 9/28 10/26 11/? 12/28
- メネット会  
 2/26（土） 大黒正宗酒蔵見学  
 3/下旬 伊藤ハム料理教室
- ゴルフコンペ 4/27（水） 鳴尾カントリー

(2) 例会運営について

- 毎月の例会プログラムの企画は、先般組織した班編成毎に順次担当する。
- 少くとも第2例会で翌々月のプログラムを決定できるように、余裕をもって準備する。
- 1月第2例会には、2月分（川越班）、3月分（上月班）の企画が提案されることを確認した。

【班編成】

- 1班 西村、黒田、田中、大野、松添、安福（5月）
- 2班 岡本、山田、谷川、平田、松本、阪田（6月）
- 3班 藤井、佐島、中川、桂、三浦、山中（7月）
- 4班 川越、正司、中野、藤本、皆本、山村（2月）
- 5班 上月、鈴木、中村、堀、森、横山（3月）
- 6班 河野、瀬戸、松崎、森田、柴田、長安（4月）

〈 鋭視野・ASIA 〉

この間、バンコクで開かれた日本・東南アジア5ヶ国YMCA合同会議(10月31日～11月3日)ではYMCAレベルでの今後の協力関係の在り方を深めながら、一方に偏した協力ではなく、正義と相互信頼にもとづくバランスのとれた協力関係を作るためにYMCAは何をなすべきかを互に考えあった。その中で日本YMCAの行っている平和教育の報告がなされ、その一環として、テンフィート運動の映画「予言」が上映されたのに対する反応には考えさせられるものがあった。すなわち原爆の被害者としての日本には大いに同情するが、同時にアジアに対する加害者としての日本を忘れてもらってはこまるというのがアジアの人々に共通した意見であったからである。この映画はすでにアメリカ、ヨーロッパで大きな反響があったようであるが、アジアではそれと異なり、あのいまわしい戦争のイメージが根深くあることを今さらのように感じた。また、最近の日本の軍備費拡大に対しても批判的な意見が多かったが、その中でシンガポールから共産主義からの防衛のためにはむしろ必要だとの意見があったのは、アジアの多様性を示すものであった。

(田中稔二記)

よそのクラブの出席率

毎月届く各クラブのブリティンの記録から、例会出席率の全国的な水準を知り、わがクラブ反省の資料にしたいと思います。過去数ヶ月の出席率を単純平均した数字です。手許で掴み得た範囲なので月のとり方にバラつきがあり、厳密な統計数字ではありませんが、見習うべき指標としてとらえました。

- 100% 四日市
- 95～100未満 大阪河内、名古屋南山、京都彦根シャトー、京都パレス
- 90～95未満 京都ウエスト、伊東、熱海、和歌山
- 85～90未満 名古屋、東京武蔵野、広島東京江東、大阪千里、名古屋東海東京グリーン、下田、大阪長野大阪高槻
- 80～85未満 東京、大阪堺、大阪泉北、大阪豊中千葉
- 75～80未満 姫路、彦根、大阪枚方、大阪、十勝神戸、(大阪センテニアル)
- 70～75未満 東京世田谷、横浜、東京北、奈良東京西、大阪土佐堀、大阪サウス福山、札幌北、熊本、東京山手、東京むかで、目黒、名古屋サウス
- 70未満

在籍36名のわがクラブは一人が2.78%のウエイトを持っています。「Y'sとはまず活動に参加すること、出席することから始まる」「奉仕とは、いかに自分の時間を他者のために割くか、ということである。お互いに多忙の中から貴重な時間を割くことに意義があるのだ」という設立総会での諸先輩からのことばを思い起し、お互い一層励みましよう。

第32回 中西部会参加報告

去る11月23日(火)勤労感謝の日に関内長野市観心寺において第32回中西部会が大阪長野クラブをホストとして催された。我がクラブも既報のとおり山中会長を含めメンバー3名、メネット3名の参加があった。

当日のプログラムは午前中長野クラブの司会にてワイズソング、聖書朗読、祈禱、五島牧師(長野)による奨励及び篠田中西部長、松崎日本区理事の挨拶等の後、奈良及び豊中クラブとの提携クラブである韓国からの20名のゲスト紹介があった。又大岡氏(大阪)の北吹クラブ訪問の話、我がセンテニアル谷川氏のスウェーデン、バステラスよりの祝電披露や大阪YMCA少年サッカー大会優勝旗の贈呈が篠田部長より酒井副主事へ行われた。その後大阪クラブを始め田辺クラブまで15クラブの全会長の年度報告があり、山中会長のONWARD CENTENNIALのアピールもなされた。他クラブ報告で印象に残ったのは、遊上(大阪)会長の「さあ、クラブライフを楽しもう」の標語のもと企画委員会によるフレッシュなプログラム作り、結婚記念日のメネット無料招待と記念写真進呈。佐古(河内)会長の100%出席を旨とし4ヶ月達成中(出席しないメンバー宅には会長自ら自転車で行き訪問し必ずメーキャップする)林(奈良)会長の温水プールへの肢体不自由の方の招待等他今後のセンテニアルクラブの活動の参考になるとと思われる報告が多数なされた。午後からはメンバーとメネットが分かれて昼食をとった後、メンバーは各クラブ代表によるパネルディスカッションが「クラブのパワーアップを計るために」をテーマに行われ各クラブの現状、問題点、その打開策等が発表された。メネットは合同メネット会を開き、中西部メネット主催の人選の方法、日本区のメネットの会費の取扱い等話し合わせ、今後各クラブで検討することになった。最後に観心寺永島龍空副住職による講演「地獄・極楽」を聞いて、次期中西部長横山氏(大阪サウス)の宣言にて有意義な会の幕を閉じた。(報告:森田 誠)

【お年玉はがき当選切手を集めよう】

11月例会で今村一之氏よりCS(コミュニティサービス)について学びましたが、その活動の一つとしてのお年玉当選切手をどしどし集めましょう。2月例会には当選の切手又は当選はがきの下の部分を多数お持ち寄り下さい。

(CS委員 松本・藤井)

Y M C A ニュース

▽明けましておめでとうございます。今年も力を合わせてセンテニアルワイズの発展のためにがんばりましょう。

昨年来ご協力いただいておりますクリスマス献金・国際協力基金は皆様のご助力で続々拠金が寄せられておりますことを感謝いたします。この募金は1月末まで行われますのでお忘れの方は是非よろしくお願ひ申し上げます。

▽ただ一つ動かせる口に筆をくわえて、詩や絵を描いておられる星野富弘さんの「花の詩画展」を2月17日～22日なんば高島屋で開催します。作家水上勉氏も「詩と絵が、これほど人間の命の尊厳と結びついたことはなかった」と絶賛されています。是非ご覧下さい。

My Private Life (5)

横山 豊君

- A 1. 「マイ・ファミリー」  
イ. 子供は、男2人  
ロ. おじいちゃん、おばあちゃんが一緒
- A 2. 「マイ・ホビー」  
ゴルフ・テニス、打ち込みたいが時間がありません。
- A 3. 「マイ・タレント」  
特にありません。
- A 4. 「マイ・コレクション」  
世界のたばこを今集めています。

My Private Life (6)

大野 公聖君

- A 1. 「マイ・ファミリー」  
イ. 子供は、女1人、名は由美子  
昭和57年8月8日8時生れ。  
お父さん(小生)に似て大へんな美人です。  
ロ. その他の仲間は「ゴキブリ」ぐらい。
- A 2. 「マイ・ホビー」  
特になし。但しコンピューターに気合いを入れている。
- A 3. 「マイ・タレント」  
免許—自動車、宅建主任程度のこと。タレントというほどのことはありません。空手は少しはやります。
- A 4. 「マイ・コレクション」  
レコード
- A 5. 「マイ・ワイズダム」  
あまり明確でない。小さいことから始める為、日々の古切手集めに精を出している。今ではすぐに切手に目が行く様になりました。
- A 6. 「メネットからの証言」  
仕事が忙しいので、家庭で過ごす時間が少ないのですが主にマンガや本等を読んでゴロゴロしています。たまに子供をお風呂に入れてくれますが、家の事は手伝ってくれません。唯一の大仕事はお風呂場につまったゴミとりぐらいでしょうか。

My Private Life (7)

岡本 公一君

- A 1. 「マイ・ファミリー」  
私の家族を紹介します。  
妻、節子。着物の着付教室とジャズダンスに週1回通い、後は主婦と次女の家庭教師です。  
長女、敦子。帝塚山学院中学2年生で、週1回テニススクールに通い、タレントになりたい女の子です。  
次女、智子。小学6年生で、今受験勉強の真最中です。弁護士志望になったり、考古学者希望になったり夢大きい、身体も大きい女の子です。
- A 2. 「マイ・ホビー」  
テニスに励んでいます。毎週日曜日テニススクールに通い始めてもうすでに7年になりますが、腕の方はもう一つ。老化防止と体力強化には最高と一人なぐさめられている様なわけです。

A 3. 「マイ・タレント」

免許は菓子屋の息子ですので「製菓衛生師免許」「衛生管理者免状(労基法、労働安全衛生規則による)」かくし芸と云えますか、ナツメロのカラオケに挑戦中です。

A 4. 「マイ・コレクション」

ありません。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

ワイズに入会させていただき約9ヶ月。もっと勉強しなければの思いで例会に出席し諸先輩方のお話を伺うのが楽しみです。

A 6. 「メネットからの証言」

娘達の冷やかな眼差しをものともせず、紅の中の黒一点。外での姿からはおよそ想像できぬ姿で、自分のピアノに合わせた唱に酔いしれてひとり騒ぎ、老眼になった身を憂いつつも、彼女等には甘い甘い主人です。

My Private Life (8)

河野 正義君

- A 1. 「マイ・ファミリー」  
妻、長男、長女の合計4名。  
長男は高校1年生、長女は中学1年生、妻は結婚18年生。
- A 2. 「マイ・ホビー」  
\*ゴルフ。練習は月1回かゼロ。コースは月2回程度  
スコアは1R 100点前後(努力してもこれ以上伸びそうにない)
- A 3. 「マイ・タレント」  
高速道路でのドライブ(安全運転でC級ライセンス?)  
外で出された食物は、嫌いなものもすべておいしそうに食べる。(\*おいしいものをホンノ少し、がモットー)および「ビールの早飲み」
- A 4. 「マイ・コレクション」  
特になし。
- A 5. 「マイ・ワイズダム」  
社会奉仕活動を通じた人格向上の場であり、より良き友人を得ること。
- Q 6. 「メネットからの証言」  
家庭内では愉快的なタレントであり、バカ話が多く頼りないが、一歩外に出ると立派に大変身し、別人のようになるようです。

お慶びのお知らせ

ドクター中村隆幸君は去る11月23日、めでたくご結婚されました。新婦の幸枝(Ukie)さんは1月1日生れと吉祥の女性です。心よりお慶び申し上げます。

他の独身諸氏もこれにあやかって一日も早く「メネット」を獲得しワイズにパワーをノと奮励努力されるよう期待します。

MY BF TRIP TO EUROPE



「ヨーロッパの旅  
ワイズの旅。」

谷川 寛

10月28日に出発して、約1ヶ月  
スウェーデン、デンマーク、英国を  
旅してきました。

(1) スウェーデン (SVERIGE)

スウェーデンの2週間は、BF代表としての旅で、7つのクラブと6つのYMCAを訪問する機会がありました。スウェーデンはカリフォルニアと同じ大きさの国です。森と湖の国でもあります。社会福祉の充実した国としても知られていますが、最近福祉国家の弊害が言われています。所得水準は世界最高の水準にありますが、物価も税金も高く、夫婦共稼ぎが大半です。スウェーデンは中立外交とウーマンリブでも有名です。

スウェーデンを含めた北欧三国は、ワイズの活発な国々です。スウェーデンのワイズを特長づける働きの一つは、COMMUNITY SERVICEに対する力の入れかたでワイズが地域社会によく溶け込んでいます。YMCAに対する奉仕はもちろんのこと、殊に地域の身障者に対する奉仕、老人ホームに対する奉仕などは、彼らの活動の身体の一部となっています。



アドベントに入ると左端から毎日捲る。裏に数字があり、これが宝くじになっている。

彼らの大きな資金集めの一つに毎年クリスマス前のアドベント・カレンダーの販売があります。アドベントに入ると、カレンダーを毎日捲ってゆきますが、この毎日の日付けの裏に数字で、賞品が当たる仕掛けになっています。賞品には、ワイズの奥さんメンバーの手づくりの品が入っています。このカレンダーの販売は、ワイズのある街では一般の人々にもよく知られており、駅の窓口や商店のウィンドウにも置いてあります。

スウェーデンのクラブは、奥さんメンバー、独身女性メンバーを多く有しています。彼女らが半数を占めているクラブもあります。これはウーマンリブや、女性の職場進出とも関係あるようです。大半の家庭が共稼ぎであり、奥さ

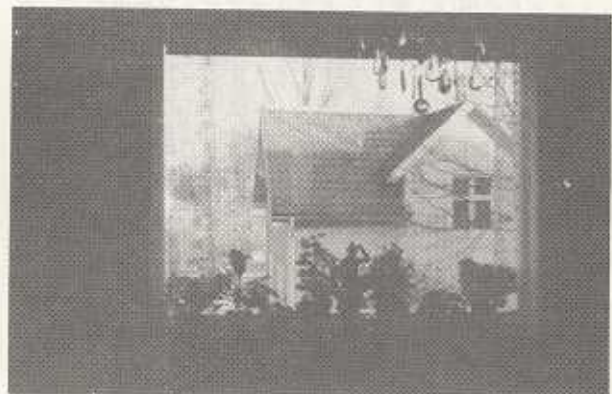
んは一日外で働いていますがそれでも夜は、御主人と一諸に、ワイズのメンバーとして例会に出席しています。私の訪れた二つのクラブが女性会長でした。メネットクラブはあまり活発ではありません。



スウェーデン・サンズバルYでの私の為めの有志  
歓迎会 (右端が会長、その左隣が女性の直前会長)

私をホストしてくれた7つの家庭では、一組の夫妻を除いて、いずれも夫婦共稼ぎでした。忙しい中を、メンバー同士がうまくやりくりして、心からもてなしてくれました。彼らの歓迎ぶりは決してオーバーでなく、さりげなく心暖まるものがあります。スウェーデンのメンバー宅は、一般に北米のそれの如く、家は決して大きくありません。

しかし、冬が長いことから家の中の飾りつけ、色調には嗜好を凝しています。殊に窓の飾りつけは素晴らしく、ランプや花で飾り、夜もカーテンを閉めません。外からも家の中がよく見えるのが特長です。彼らはおしゃれで、清潔でなかなかの美的感覚の持主です。



スウェーデンでは窓を鉢植の花やランプで飾っている家が多い。

話を本題に戻して、スウェーデンのワイズの働きをさらに挙げるなら、海外の発展途上国のYMCAに積極的に援助の手を差し伸べていることです。アフリカ、インド、スリランカに対する彼らの働きの事例を、いくつか知る機会がありました。彼らから多くを教えられました。

彼らはまた、YEEPへの関心も強く、積極的に参加しています。スウェーデンは戦後アメリカの影響を強く受け、スウェーデンを「リトル・アメリカ」と呼ぶ人があり

ます。それだけに若い人々のアメリカ、殊にカリフォルニアに対する憧れは日本以上で、YEEPの希望にもこれが現われています。スウェーデンのワイズは、YEEPで若い人々をアメリカを中心に送ると同時に、彼らも多数の外国の子弟を受け入れて責任を果しています。日本からは東京クラブ上妻さんのお嬢さんがお世話になりました。

このようにスウェーデンのワイズは、世界のワイズダムの中で、地道なよき働きをしています。



オレプロ・ワイズ例会でのバナー贈呈式。

## (2) 英国 (UNITED KINGDOM)

2週間のスウェーデンのあと、英国を所用で訪れました。英国は御存知のYMCA発祥の地です。しかし、ワイズは目下2つしかありません。イングランドのプリストルと、スコットランドのダンフリーズです。プリストルのKINGSWOOD Y'S MEN'S CLUBとは、日本出発前から連絡をとっておきました。日本のワイズははじめてとして歓迎してくれました。

今回の旅行のハイライトの一つは、週末を利用してスコットランドに飛び、新しくエクステンションを進めているスコットランドYMCAとその主事、メンバーを訪問出来たことです。ヨーロッパAPのLARS-GUSTAF WINBERG、プリストルのメンバーでヨーロッパ・エリアエクステンションを担当しているASDのNORMAN CULLIMOREと共に、グラスゴー郊外のPAISLEYとCUMBERNAULD(カンパノールド)を訪問しました。



スコットランド・ベイズリーYMCA-G・ウィリアムズの建てたロンドンYMCA(1844)と同じくらい古い。一番上にYMCAの文字がある。1階は商店街。



スコットランド・ベイズリーYMCAの入口で3月チャーターするベイズリーワイズの打合せをするメンバー達

グラスゴーはスコットランド最大の工業都市です。18世紀には産業革命の恩恵を受け、以後造船を中心に大きく繁栄した大都会です。今は落日の欧州にあって、グラスゴーもその例外でなく、競争力を失い、不況の中に大量の失業者を抱えて喘いでいます。このような都会にあって、YMCAは若い人々に光を与えるべく良き働きをしています。

何処のYMCAにも、ワイキチと云える熱心な人々がおります。その人々が中心になり、そしてダンフリーズのワイズがスポンサーして、ワイズをつくろうと一生懸命です。新しく3月チャーターを目指して頑張っています。

私の日本ワイズの経緯談は、彼らにとって遥か極東の国日本にもYMCAとPARTNERSHIPを組むワイズがあり、友達があることも知らせるチャンスとなり、注目を引いたようです。

ヨーロッパAPのL.G.ウィンバーグと私は、スコットランドの生んだ詩人ロバート・バーンスの詩集をいただきました。ダンフリーズのワイズマンが、その中から一節を引用しました。要約しますと「……本当に正直で、世の中に価値ある人々が尊重される社会が来ることを祈ろうではないか。そのような未来は確実にやって来る。そこではお互に兄弟同士となり、手をつなぐ社会になる」という内容でした。



スコットランド・ダンフリーズワイズから詩集を贈られたJVPのL.G.ウィンベルグと私。

以上